

あまぎ Oguchi

新議長は **酒井久和** 2

国民健康保険に傷病手当を (一般質問) 7

町は保育園で一時保育を (一般質問) 9

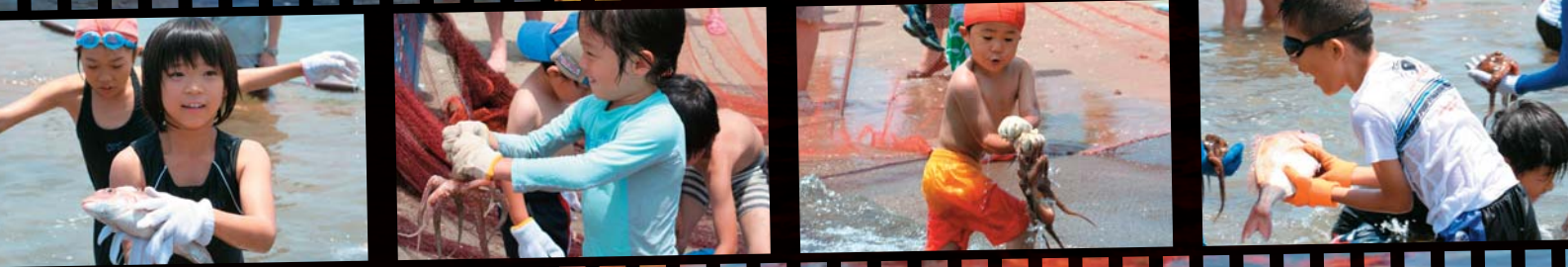
スタンプカード制を見直せ (一般質問) 10

議会だより

6月定例会 No.182

平成22年8月1日

発行：愛知県大口町議会



22年度

議会構成決まる

5月11日の臨時会で議長に酒井久和、副議長に木野春徳を選出しました。

常任委員会等の委員は条例で任期が1年となっているので、新議長のもと委員会の人事を決めました。

さらに22年度は議会基本条例検討特別委員会と南小学校建設特別委員会を新たに設けました。

就任のごあいさつ



議長 酒井久和

5月11日の臨時会において、全議員のご推挙により議長の要職に就くことになりました。議長を引き受けた以上は、安心・安全なまちづくり、そして議会発展のため一生懸命務める覚悟であります。本町は他の自治体と比べると比較的恵まれた財政状況ではありますが、税収の減少が影を落としております。そうした中、平成22年度には、南小学校の新築、西小学校や役場の耐震化工事など、重要な大事業が山積しています。また、地方自治体の自己決定、自己責任の

範囲も大きく広がろうとしています。堅実な財政運営を維持しつつ、将来にわたって安心して暮らせる環境を整えるには、これまで以上に責任ある議会活動が求められます。そのため、議会改革の一環として議会基本条例の制定に向けて検討してまいります。皆さま方の温かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

全議員のご推挙をいただき、副議長の重責を担うことになりました。誠に光栄に存すると同時に、その責務の重大さを痛感しているところです。不慣れゆえ行き届かぬ点もあろうかと思いますが、議員経験豊かな酒井議長にご指導を仰ぎながら、この職責を全うしてまいります。まちづくりを進めるには、住民の皆さんの力が



副議長 木野春徳

不可欠であります。皆さんのご意見を拝聴しながら、町執行部とともに「みんなが進める自立と共助のまちづくり」に力を入れていきたいと考えています。皆さま方のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではありますが、ごあいさつといたします。

総務建設 常任委員会

◎定数 8人

地域協働部・建設部・
総務部・会計管理者等
の所管事項の調査、条
例・予算などの審査を
します。



委員長 土田 進

副委員長 宮田和美
委員 田中一成・鈴木喜博
吉田正輝・木野春徳
倉知敏美・宇野昌康

※鈴木喜博氏は7月12日付
で議員辞職

文教福祉 常任委員会

◎定数 7人

健康福祉部・生涯教育
部の所管事項の調査、
条例・予算などの審査
をします。



委員長 酒井廣治

副委員長 岡 孝夫
委員 吉田 正・柘植 満
丹羽 勉・齊木一三

酒井久和

議会運営委員会

◎定数 8人

議会運営や議長の諮問に
関する事項を協議します。



委員長 倉知敏美

副委員長 丹羽 勉
委員 吉田 正・岡 孝夫
宮田和美・土田 進
齊木一三・宇野昌康

議会選出監査委員

適切な行財政運営が行わ
れているか定期的に監査
します。



柘植 満

NEW

議会基本条例 検討特別委員会

◎定数 8人

議会基本条例策定に向け
て調査・研究します。

委員長 齊木一三
副委員長 柘植 満
委員 吉田 正・岡 孝夫
丹羽 勉・木野春徳
倉知敏美・宇野昌康

NEW

南小学校建設 特別委員会

◎定数 8人

南小学校の建設に関する
事項を審査します。

委員長 倉知敏美
副委員長 岡 孝夫
委員 田中一成・酒井廣治
丹羽 勉・土田 進
齊木一三・宇野昌康

各種委員会委員

- 地域交通推進会議 (2人)
酒井廣治・土田 進
- 保育所運営委員会 (3人)
柘植 満・岡 孝夫・宮田和美
- 国民健康保険運営協議会 (3人)
吉田 正・丹羽 勉・木野春徳
- 都市計画審議会 (5人)
吉田 正・齊木一三・木野春徳
倉知敏美・宇野昌康
- 学校給食センター運営委員会 (2人)
田中一成・酒井廣治

一部事務組合議員

- 丹羽広域事務組合 (5人)
吉田 正・宮田和美・土田 進
齊木一三・木野春徳
- 江南丹羽環境管理組合 (3人)
田中一成・吉田正輝・倉知敏美
- 愛北広域事務組合 (3人)
岡 孝夫・酒井廣治・丹羽 勉
- 尾張農業共済事務組合 (1人)
柘植 満
- 尾張水害予防組合 (1人)
岡 孝夫

6月定例会は3日から17日までの15日間の会期で開かれました。

一般会計の補正予算のほか、町職員の育児休業に関する条例の改正など全部で8議案の提案がありましたが、反対意見もなく、全議案とも全員賛成で可決しました。

一般質問は7人の議員が町政全般にわたり質問をしました。

ごみ袋を安くしては

問 可燃ごみ袋の入札価格が下がり、補正予算で950万円も減額する。入札金額はいくらだったか。

答 22年度の入札単価は、大袋4・35円(21年度10・87円)、小袋3・33円(同9・29円)、減量型1・73円(同4・83円)と大幅に下がった。



ごみ袋の結びしろは復活です

問 それなら、販売価格は下がるのか。

答 販売価格は収集に係る経費を手数料としたもので、ごみ袋の実費相当額ではない。したがって、販売価格を変更する考えはない。

まちづくり道具箱整備

問 まちづくり道具箱整備事業の新規予算500万円は何か。

答 まちづくり道具箱整備事業は、公益性がある事業を推進するために必要な施設の整備・改修を助成する事業。財源は民間都市開発推進機構からの拠出金を活用する。大口町NPO登録団体

自治組織に410万円

問 地域自治推進事業で410万円支出する。これは、(財)自治総合センターから助成金としてもらい、同額を地区に交付するとの説明があった。どういう内容のものか。

答 地域のコミュニティ活動を推進するために、財団法人から助成されるもの。町からは、下小口区に240万円、さつき

からの申請に基づき、公開プレゼンテーションで審査をして、事業の承認を決定した。

予算額は1事業の上限額である500万円で計上した。

加湿機を追加購入

問 子育て支援対策基金の補助金を受けて、加湿器を追加購入するとのこと。この事業の説明を。

答 県の「保育所等における感染症対策備品購入事業」の補助金を受けて加湿機を購入する。当初予算では保育園35室、児童センター9室、幼稚園15室分を計上していた。

しかし、事業の対象が児童クラブにも拡大され

ヶ丘区に170万円を交付する。

区で購入するものとして、整理棚、テント、テ

たので、児童クラブ4室と幼稚園の園児数増加による1室分を、追加で補正する。

問 加湿器の使用基準はあるか。

答 基準は定めていない。各部屋の環境に合わせて、担任あるいは園長の判断で使用していく。



ほっぺをつねって、にらめっこ。仲良しの分だけ感染率もアップアップ？

5社が最低制限価格

問 役場耐震補強改修工事の入札で、10社のうち5社が最低制限価格で応札。そのため、電子くじで抽選を行い、落札者を決定した。最低制限価格を公表せずに入札すべきではなかったか。

答 最低制限価格は契約規則で定められた率をもとに算定している。建物の品質確保を担保するため、地方自治体の判断で設定することができるとされており、過去の事例と同様に入札を執行した。

最低制限価格

積算に基づく予定価格に、一定の率を掛けて算出する。この金額を下回る入札は無効となる。

電子くじ

電子入札をする際に、業者は任意の数字（3ケタ）を入力する。この数字と、基準日から入札書が到達するまでの秒数を基礎として、コンピューターが自動計算して抽選する仕組み。

育児休業等の拡大

問 育児休業を取りやすくする改正が行われる。しかし、その後の昇給・昇格に影響があるようでは育児休業の取得は進まない。その辺りはどうなっているか。

答 職場復帰した段階で、育児期間中に実施された昇給が行われる。したがって、給与面で差は生じない。今年度から本格的に、

目標管理を導入した人事評価に改めた。上司と面談の上、個人目標を設定し、その達成度を評価する仕組みである。そうした評価を重視した組織作りを取り組んでいく。

問 この条例は臨時職員にも適用されるか。
答 臨時職員は半年契約であるので、条例の対象にならない。

質疑あれこれ

6月議会に上程された議案の中から主な質疑を要約してお知らせします。

健康センターの修繕

問 指名競争入札ではない。一般競争入札でもよかったのでは。
答 制限付き一般競争入札は、建築においては予定価格が1億5千万円を上回る場合と定めている。今回はそれを下回ったので指名競争入札とした。

問 指名競争入札ではなく、一般競争入札を検討してもよかったのでは。
答 制限付き一般競争入札は、建築においては予定価格が1億5千万円を上回る場合と定めている。今回はそれを下回ったので指名競争入札とした。

問 視野に立った修繕計画をつくるべきでは。
答 点検項目の洗い出しは済んでいる。施設整備の年次計画を立ててやっていかねばならないと思っている。

問 4階のほほえみホールは冷房の利きが悪い。何か計画はないのか。
答 現在のところ、個別に空調機を付ける計画はない。事前に冷房を入れておくなど、工夫で対処したい。

問 健康文化センターは築12年ぐらい。あちらこちらに傷みが目立つ。メンテナンスをしっかりとすれば、長期間使用できるはず。不具合な個所を修繕するだけでなく、全体的な調査をして、長期的

主な改正点

改正前	改正後
配偶者が日常子どもを養育している場合は育児休業等を取得できない。	配偶者の養育状況にかかわらず、育児休業等の取得が可能に。
育児休業の取得は、配偶者の疾病などの特別な場合を除いて1回だけ。	育児休業等計画書を提出することで、特別な事情がなくても複数回可能に。

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

6月定例会では7人が一般質問をしました。

一般質問

土田 進

町道布袋・小牧線の拡幅計画は部長 現況を把握し、地元と協議したい



土田 進

通過車両が増えるだけとの地元の意見もあって、事業に消極的になっていったのは事実だ。

土田 町道布袋小牧線に対する現状の計画と、今後の見通しを

問う。

建設部長 今年度の測量で建物

等の配置状況を把握し

現状は、地元の皆さんに賛同を得ていないので、今後の協議の中で、皆さんに理解してもらえらる線形にしていきたい。

土田

「町道布袋小牧線の測量に関する打ち合わせ会」が6月5日に開催された。その内容は。

建設部長

拡幅の道路線形を地権者の方に検討してもらうため、現況の家屋、塀などの位置を確定する測量に同意をお願いする説明会を開いた。
現在は測量の同意書の提出をお願いしているところである。

土田

大之瀬橋を改修するとき、江南市とはどういった協議をしたか。

建設部長

橋から東の点滅信号までの布袋小牧線は、平成11年策定の道路網整備計画で、将来拡幅が必要な路線として位置付けた。その道路幅員をもとに、橋の工事費用の負担割合を江南市と取り決めた。協定書の締結に至るまで、10回もの協議を重ねた。

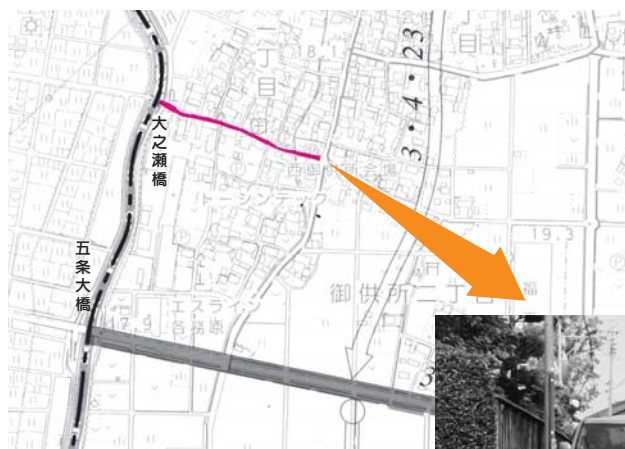
土田

協定書等によれば、「道路整備は誠意をもって取り組み、早期完成に努力する。毎年状況を報告する」とされている。

江南市にはどういった説明をしているのか。

建設部長

道路網整備計画は、具体的な年次計画をもったものではなく、地元の同意があれば整備するといふもの。締結の際にはそのことを理解してもらっている。
江南市には毎年度末、移転について努力している旨の報告をしている。



道幅が狭くなり、運転手の緊張が高まります

人工肛門に補助の増額を 部長 基準額の増額は考えていない

吉田

ストーマ装具の自己負担額は、1か月当たり1万円強になる。ストーマ装具に対する補助はどのくらいか。

また、町内における対象者は何人か。

健康福祉部長

ストーマ装具

のうち、蓄便袋は月額8858円、蓄尿袋は月

額1万1639円まで自己負担は1割。残りの9割は町が補助している。

平成22年4月から、本人および配偶者が町民税非課税の場合、自己負担額を0円にしている。

平成21年度の実績として25人が給付を受けている。

吉田

補助基準額を増やす考えは。

ストーマ

手術でつくられた排泄口のこと。消化管ストーマは人工肛門、尿路ストーマは人工膀胱と呼ばれる。

健康福祉部長

ぼうこ
うや直

腸機能障害で身体障害者手帳4級を所持している人には、さらに福祉手当として月額4千円を支給している。個人負担を軽減しているので、基準額を増額することは考えていない。

吉田 正

国民健康保険に傷病手当を

町長 現状を考えると導入できない

吉田

国民健康保険に傷病手当は必要

だと思いが、町はどのように考えるか。

健康福祉部長

市町村が運営

する国保は、①多種多様な職種の人が入っている②傷病手当の基準となる保険料を算定する標準報酬月額を定めていない—ので、傷病手当はなじまない。

いずれの市町村も国保に傷病手当を設けていないし、本町もその考えはない。

吉田

私は、傷病手当が必要か不必要かを聞いている。どちらか。

町長

法律的には傷病手当の導入まで求められていない。

現在の市町村国保の現状を考えると、到底導入できる状況ではない。

副町長

国保運営を考えたとき、自

主的な財源で継続できるかが大事。財源を一般会計から繰り入れるという前提なら、採用は難しい。

吉田

そんなことは聞いていない。なぜ必要かどうかを答えられないのか。

町長

現実にその制度の実態を判断す

る中で答弁している。直接、聞かれた質問に回答したわけではないが、次にそれが出てくるということは十分に想定できる。

法律では、制度として「できる」ということであって、その判断は保険者である市町村がすればいいと理解している。



田中一成

市町村合併をどう研究しているか 部長 合併を模索する研究会ではない

覚・聴覚・腎臓・肝臓・呼吸器のいずれかの障がいに該当

▽療育手帳A判定

▽特定疾患医療給付事業受給者票の所持者

業受給者票の所持者

田中 タクシーチケットの内容と、支給対象者を問う。

健康福祉部長 この事業は、

高齢者や障がい者などの外出支援サービスとして、タクシー料金の基本料金を、年24回（最大48回）まで無料にするもの。

対象者は本人の課税所得金額が200万円未満で、次の項目のいずれかに該当する者。

▽満80歳以上

▽満75歳以上で、単身

高齢者・高齢者世帯・要支援または要介護認定者のいずれかに該当

▽身体障害者手帳の1・2級で、下肢・体幹・視

田中 手術や療養中など特別な事由の含まれるよう柔軟な対応はできないか。

健康福祉部長 高齢者や障がい者など継続的・長期的に外出が困難な人の社会参加を支援する目的で事業を行っている。

事情はよく分かるが、目的に沿って事業を進めていきたい。

田中 小牧市を中心とする合併を含めた研究会が、担当者レベルで開かれている。どういうものか。

合併問題については、どのような研究をしているのか。

総務部長 昨年の衆議院選挙前には、道州制が盛んに論じられていた。道州制時代の基礎的自治体の在り方を研究してはどうかと、本町から周辺自治体に声を掛けた。その趣旨に賛同した小牧市と扶桑町で勉強会を立ち上げた。

22年度になってから、岩倉市と豊山町も参加することになった。

勉強会の目的は、地域主権や道州制の時代に、基礎的自治体はどうあるべきかを研究することであって、市町村合併を模索するものではない。

新聞報道では合併の研究会ととられる書き方もあったが、そこまで踏み込んだ内容ではない。

今年の9月ごろに中間報告、年度末には報告書を取りまとめる予定。

その他の質問

新ごみ処理施設を犬山の候補地に絞り込んだが、早すぎないか。

また、処理方法の検討はどこまで進んだか。

平成30年度の供用開始を目標に事務を進めてきた。当初のスケジュールより2か月遅れている。

処理方法の検討は、それぞれの機種の長所・短所について、専門家のアドバイスを受けたところ。

タクシーチケット 特別な場合は対象者を拡大せよ 部長 事業目的に沿って進めていく

保育予算を削減するな

部長 次世代育成計画を踏まえ、真剣に考える

丹羽

保育園における保育は子育て支援だけでなく、児童の

養護と教育を一体的に行うものである。保育を財政的支出の削減の対象にするのではなく、何を

健康福祉部長 平成21年から次世代育成支援後期行動計画の策定に取り組み、26年度までの計画を策定した。そうした計画を踏まえ、保育に対して真剣に考えていかねばならないと思っ

丹羽

21年度の保育園費は20年度より

1400万円の減、22年度はさらに2600万円の減。町負担額も21年度は前年度比2300万円の減、22年度は園児の主食代500万円が公費負担になったにもかかわらず2200万円の減である。

何が削減されたか。

健康福祉部長

22年度は、職員

の地域手当の廃止で1千万円、臨時保育士の配置の見直しで600万円、施設の工事関係で300万円の減額が主である。



丹羽 勉

町は保育園で一時保育を

部長 調整を図りつつ、検討したい



丹羽

近隣市町のほとんどのところで

一時保育を実施しており、本町にも実施の要望が多く寄せられていると聞く。本町の保育園は現行のまま受け入れが可能だと思う。ぜひ一時保育を実施していただきたい。

健康福祉部長

一時保育に準

ずる制度として「すくすくサポート」がある。また、民間事業者や子育て支援団体において一時保育が実施されている。民間事業者や子育て支援団体と調整しつつ、保育園での一時保育を検討していきたいと考えている。

すくすくサポート

一時的に子どもを預かる会員制のシステム。子育てを依頼したい人（依頼会員）に、お世話をする人（援助会員）を紹介する制度。この制度の対象年齢は12歳まで。



宮田和美

ごみ減量スタンプカード 72ポイント3000円は廃止に

部長 今後見直しをしていきたい



宮田

スタンプカード制を実施して2

年が経過した。減量という当初の目的は達成できたとと思う。その成果をどう評価しているか。

地域協働部長

可燃ごみの減

量のため、スタンプカード以外にも剪定枝等の回

収、河北区・さつきヶ丘区での資源ごみの常時回収を実施してきた。

平成21年度は9・3%

の減量（基準年度＝平成16年）ができた。

宮田

72ポイントで報酬金3千円をもらった世帯は何世帯か。

1年間に2回以上もらった世帯はあるか。

地域協働部長

72ポイント

達成した世帯は、平成21年度で1258世帯、2回以上は232世帯である。

宮田

リサイクルは大量だが、72ポイント＝3千円が目的になっている。制度を見直す時期ではないか。

地域協働部長

ごみ減量もあ

る程度の効果を得た。今後の対応等を見いだし、見直しをしていきたい。

敬老行事

3年に1度は演芸会

部長 皆さんの生の声を聴いて判断

宮田

ちとせ会（大口町老人クラブ連

合会）が、結成50周年を祝う記念事業を10月に行う。高齢者に大声で笑ってもらえる企画を開くこと聞いた。

敬老祝金も5歳刻みとなり、寂しいとの声もある。町主催の行事として、3年に1度くらいは演芸会などを催すことはできないか。

健康福祉部長

高齢者の方が

希望や楽しみを持って暮らすには、健康が大切と考え、健康を維持・増進する施策を実施している。



具体的には、高齢者のニーズに合った骨粗しょう症の予防や認知症などのテーマで、福祉講演会を年2回開催している。

憩いの四季では、専門の指導員による体操教室を週1回開催している。さ

らに、高齢者福祉協力員と協働して、高齢者向けの映画会も年1回開催している。

皆さんの生の声を聴きながら、高齢者にやさしい施策に取り組んでいく。

子宮頸がん ワクチン接種に助成を

部長 関係機関の情報収集に努めたい

柘植

日本は「がん大国」なのに、がん対策では後進国。子宮頸がんでは毎年3500人も死亡しているにもかかわらず、検診受診率はわずか20%台である。

① 昨年、乳がんと子宮頸がんの受診率向上を目指して行われた「がん検診無料クーポン」の成果

② 単年度事業として終わらず、今後も継続していくべきである。見解を問う。

健康福祉部長

① 乳がん検診は、検診対象者742人にに対し受診者182人、受診率は24.5%。子宮頸がんは831人に対し

172人、20.7%だった。

今年度は受診できる医療機関を1か所から3か所に、受診期間も1か月延長して、受診率の向上を図っている。

② 本年度の実績を踏まえながら、がん予防対策の推進を図るため検証していく。

子宮頸がんは、ワクチン接種と検診で、ほぼ100%予防できる。日本でもワクチン接種が開始され、名古屋市では、10月から小中学生に全額公費で実施することになった。

柘植

子宮頸がんは、ワクチン接種と検診で、ほぼ100%予防できる。日本でもワクチン接種が開始され、名古屋市では、10月から小中学生に全額公費で実施することになった。

がん検診無料クーポン

特定の年齢に達した女性に、子宮頸がん・乳がんの検診費用が無料になるクーポンを交付する事業。子宮頸がん検診は20歳から40歳までの5歳刻みの人、乳がん検診は40歳から60歳までの5歳刻みの人が対象。

命を守る大事な取り組みである。本町もワクチン接種に助成を。

健康福祉部長

ワクチン接種の効果がどれくらい続くのか追加接種が必要なのかなど、まだはつきり分かっていないことも多い。こうした状況から、さらに検証する必要があるので、関係機関等の情報収集に努めていきたい。

ヒブワクチンにも助成せよ

部長 国が定期接種にするか検討している

柘植

肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンは、すべての国で定期接種にすべきであると、WHO（世界保健機関）は勧告を出している。既に多くの国では定期接種として実施されている。

日本ではどちらも自己負担の上、高額である。「国の動向を見て」からではなく、本町独自で公費助成の取り組みを。

健康福祉部長

厚生労働省の厚生科学審議会部会が、国で定めた定期接種とするかを検討しているところなので、国の動向を注視したい。

ヒブワクチン

ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型（略してヒブ）のワクチン。乳幼児の細菌性髄膜炎の原因とされる。



柘植 満

目標を明記し、PDCAで公表を

部長 21年度分の報告書から実施



岡 孝夫

岡 「決算に係る主要施策の成果報告書」の中のそれぞれの施策に目標がない。にもかかわらず、成果・評価があることは理解し難い。

平成20年度には目標管理の研修を受講している。現時点で目標はあるか。

総務部長 研修を通じて職員の意識改革を高め、行政経営という概念を導入しようとして進めてきた。

平成22年度から、行政経営計画に基づく個々の具体的な目標はある。

岡 主要施策には目標を明記した上で、PDCAで取りまとめ、それを公表すべきでは。



総務部長 21年度の主要施策の成果報告書から、PDCAのサイクルで取りまとめ、公表していきたい。

岡 目標はできるだけ、数値化すべきと考

える。いかがか。

総務部長 行政には法サービスもあって、数値化が非常に難しい部分もある。しかし、内部事務あるいは事務事業に関しては、できるだけ数値目標を立てて合理化を進めていきたいと考えている。

岡 平成18年6月に公表された「集中改革プラン」は、平成19年の中間報告以降、報告も公表もない。中間報告以降の計画は達成されたか。

また、5年間の計画全般について「事業・サービス価値の本質検証」としての最終報告をすると思うが、それはいつか。

総務部長 集中改革プランは22年3月で終了している。これから最終的な成果を検証して、取りまとめを行っていく。決算の数値等も参考にするので、8月以降ぐらいに公表していきたい。

集中改革プラン

今後の取り組みは

部長 別の形で見直しを継続

岡 集中改革プランを継続していく市町もある。本町は継続していくつもりか。

総務部長 集中改革プランは、国から示された行政改革を集中的に実施するための計画である。

本町ではこれに代わるものとして、経営計画書を中心とした事業の見直しを継続的に進めていきたい。

追 跡

1年前の一般質問

あれから どうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載しています。そして、その後どのように町政に反映されたかも追跡調査しています。今回は、平成21年6月定例会からピックアップしました。

新型インフルエンザ対策は万全だったか

新型インフルエンザに対する資機材等の準備はできていたか。
(土田 進)

健康福祉部長答弁

マスクを備蓄、買い増しも

防護服、マスク、消毒用アルコールなどを備蓄していた。5月には予備費を使って備蓄品の買い増しもしていた。

どうなった

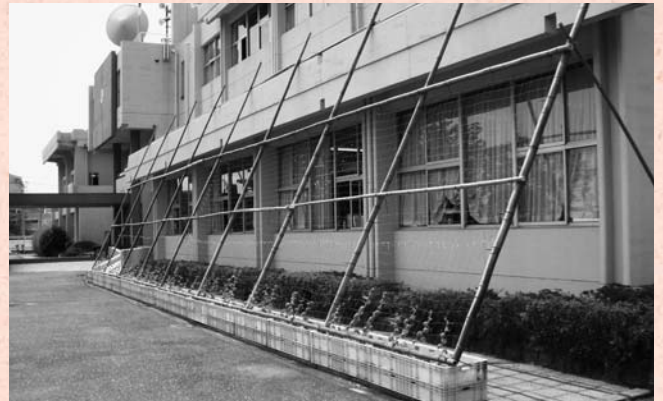
22年3月で対策を終了

年明け以降の感染者は激減した。新型インフルエンザ対策として手指消毒液を公共施設の出入口に設置していたが、3月末をもって終了した（健康文化センターを除く）。
<参考：感染者の累計は、保育園195人、小学校535人、中学校261人（平成22年2月10日現在）>

質問者の満足度



先ごろの^{こっぴど}口蹄疫でも見られるように、住民が行政に望むことは危機管理対策が万全であること。新型インフルエンザも脅威がなくなったわけではない。危機管理マニュアルを作成し、十分な訓練・準備をお願いしておきたい。



今年も設置された緑のカーテン

緑のカーテンの設置を

温室効果ガスの発生を抑制する取り組みとして、つる性の植物を植える「緑のカーテン」を実施しては。
(宮田 和美)

地域協働部長答弁

庁舎でも取り組む

保育園や温水プールでは既に実施していた。役場庁舎にも設置していきたい。

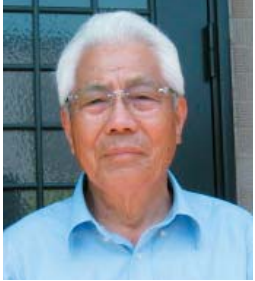
どうなった

22年度は西側も

昨年は、役場の正面入り口から東側だけだったが、今年は西側にも設置する。他の公共施設にも緑のカーテンを設置して、地球温暖化防止に取り組みたい。

まだまだ勉強中

日本芸術に魅せられ、現在も毎週のように趣味の同好会に出席される服部さん。見る人に感動を与える作品を生み出し、ますます元気に活躍される姿を紹介します。



服部恒弥（はっとり・つねや）さん
仲沖在住。78歳。
鉄工所を経営しながら、趣味で始めた墨絵をきっかけに芸術魂に火がつき、多方面の作品制作にも挑戦する。毎年11月に開催される町の文化祭にも出品している。

まちの 元気者



玄関に置かれているわら細工の宝船。
制作に4日かかったそうです



骨組みから武者絵まですべて手作りの「ねぶた」。
地元はもとより小牧市や犬山市のお祭りでも披露されています

取材を終えて

人間だれしも目標を持つことは大切。墨絵に始まり、次は細工仕事、次は工作と、絶えず前に進む目標こそ元気の秘訣と感じました。

次も素晴らしい作品を期待しています。 (宮田 和美)

編集後記

今回号からメンバーを入れ替え、体制を新たにしていって、発行することになりました。中身も少しずつリニューアルして、より一層読みやすい議会だよりを目指していきたいと思えます。

「編集後記」のコーナーは、第1弾のリニューアルとして今回号をもって休止とします。次号からは、このスペースも有効に活用した紙面にしていく予定です。
長らくのご愛読ありがとうございました。
(編集委員 同)



- 発行責任者** 酒井久和
議長 酒井久和
議会広報常任委員会
委員長 宮田和美
副委員長 酒井廣治
委員 岡孝夫
丹羽勉
土田進

皆さん議会傍聴に 来てください

次回定例会
9月2日(木)から 予定
手続き簡単
役場3階で住所と名前を書くだけ

会議録をご覧ください

町議会の会議録をインターネットで公開しています。町のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

大口町議会

検索